「大学の世界展開力強化事業・ロシア特別講義」を開催

2019 年 3 月 1 日

３月１日（金）、金沢大学角間キャンパス自然科学５号館大講義室にて、ロシアサイエンスアカデミーと金沢大学との研究交流を推進するため、サンクトペテルブルク医科大学 腫瘍学 Mikhail I. Zarayskiy 先生、モスクワ大学 免疫学 Sergei Nedospasov 先生をお招きし「大学の世界展開力強化事業・ロシア特別講義」（金沢大学主催）を開催いたしました。

講演では、Zarayskiy 先生からは、悪性グリオーマの診断における miRNA 測定の有効性を、Nedospasov 先生からは、細胞種特異的な TNF の働きについてのお話をいただき、最先端のがん診断学と免疫学の理解を深める大変有意義な講義となりました。

研究所内外の教職員、大学院生等 55 名が参加し、とても活発な質疑応答や意見交換が行われました。

金沢大学主催 大学の世界展開力強化事業・ロシア特別講義

日時：　2019年3月1日（金）16−18時

場所：　金沢大学角間キャンパス自然科学５号館大講義室

ロシアサイエンスアカデミーと金沢大学との研究交流を推進するため、サンクトペテルブルク医科大学およびモスクワ大学から、それぞれ腫瘍学、免疫学のエキスパートにご講演いただきます。

16:00-17:00　Oncology　　座長　高橋　智総

Minimally invasive diagnostic method for staging in glioma patients based on expression profiling of miRNAs

Mikhail I. Zarayskiy MD., PhD.

Department clinical laboratory diagnostics with the course of molecular medicine, FSPbSMU name I.P. Pavlov, Russia

17:00-18:00　Immunology　　座長　中西　猛夫

How reverse genetics may suggest new modalities of anti-cytokine therapy

Sergei Nedospasov PhD.

Laboratory of Molecular Mechanisms of Immunity, Engelhardt Institute of Molecular Biology, Russian Academy of Sciences and Department of Immunology, Biological Faculty, Lomonosov Moscow State University, Moscow, Russia.

参加費：無料です。多数の御来聴をお待ちしています。

※医学専攻および博士課程　共通up-to-dateセミナーとして認定します。
※医薬保健総合研究科創薬科学専攻　プレシジョン先端セミナーとして認定します。

問合せ先：　がん進展制御研究所　腫瘍分子生物学研究分野　高橋 智聡 (6750)
医薬保健研究域薬学系　薬物動態学　中西 猛夫　(4421)